

□特許早期審査 (AEP) 申請統計 (台湾)

台湾では「特許早期審査の運用方案」(AEP)が2009年1月1日から1年間試行され、2010年1月1日に正式に施行された。

早期審査を申請できる事由は当初3項目であったが、2014年1月1日からはグリーンエネルギー技術に関する発明も認められるようになった。更に、2015年12月3日に知的財産局は産学官連携による特許出願も事由3に基づき早期審査を申請できることを公布した。早期審査を申請できる事由は以下の4項目である。

- 事由1：対応する外国出願が外国特許庁の実体審査を経て、特許査定されたもの。
- 事由2：対応する外国出願が、米国、日本、欧州特許庁の審査意見通知書及びサーチレポートの発給を受けているが、審査結果は出ていないもの。
- 事由3：ビジネスの実施上、必要とするもの(産学官連携による特許出願も含む)。
- 事由4：グリーンエネルギー技術に関するもの。

台湾知的財産局は、2017年の早期審査の申請状況を発表した。以下は発表された統計の和訳である。表1は比較のために2015年、2016年の統計も入れた。

公布日：2018年1月9日

表1 2015年、2016年及び2017年 早期審査の申請件数

※「事」は事由の略

単位：件

年	台湾籍申請人					外国籍申請人					総計
	事1	事2	事3	事4	合計	事1	事2	事3	事4	合計	
2015	128	3	135	36	302	260	18	10	0	288	注1 590
2016	63	1	140	24	228	164	10	15	3	192	注2 420
2017	47	4	107	31	189	162	7	3	3	175	注3 364

注1：不適合申請の28件を含む（事由1：12件、事由2：3件、事由3：11件、事由4：2件）

注2：不適合申請の23件を含む（事由1：4件、事由2：1件、事由3：13件、事由4：5件）

注3：不適合申請の18件を含む（事由1：6件、事由3：5件、事由4：7件）

2017年 申請人の国籍 上位10ヶ国

単位：件

順位	国名	事由1	事由2	事由3	事由4	合計
1	台湾	47	4	107	31	189
2	日本	76	3	0	0	79
3	アメリカ	32	0	0	1	33
4	オランダ	14	0	0	0	14
5	ドイツ	9	0	0	0	9
6	イタリア	4	2	0	0	6
7	イギリス	6	0	0	0	6
8	スイス	1	1	2	0	4
9	ベルギー	3	0	0	0	3
10	韓国	2	0	0	1	3

表2 早期審査申請に対する、第1回目の回答（審査意見又は審査決定）までの平均日数

申請事由	早期審査申請時期	第1回目回答までの平均日数 (単位：日)
事由1	2017年12月末まで	71.1
事由2	2017年12月末まで	79.4
事由3	2017年12月末まで	129.7
事由4	2017年12月末まで	97.2

注記： 事由1は2009年1月から2017年12月末までの平均。
 事由2と3は2010年1月から2017年12月末までの平均。
 事由4は2014年1月から2017年12月末までの平均。

表3 事由1及び2における、対応出願の出願国 (2017年1月～12月)

単位：件

国名	事由1	事由2	合計	割合(単位：%)
アメリカ	116	5	121	52.84
ヨーロッパ特許庁	37	6	43	18.78
日本	42	1	43	18.78
中国	7	0	7	3.06
韓国	5	0	5	2.18
ドイツ	4	0	4	1.75
オーストラリア	3	0	3	1.31
シンガポール	1	0	1	0.44
イギリス	1	0	1	0.44
合計	217	12	229	100.00

注：上記中、8件は複数の対応出願に基づく申請。